

2022年度 発達障害支援スーパーバイザー養成研修 募集要綱

昨今、強度行動障害支援や発達障害地域支援等、発達障害児者への支援の場におけるスーパーバイザーの存在の重要性は高まってきています。ただ、発達障害支援もスーパービジョンも、知識の獲得だけで実践力が向上することはなく、研修の方法さえ確立されていない状況にあります

本協会には発達障害支援に長く携わり、支援とスーパービジョンの実践を積み重ねてきた施設が多く加盟しています。本研修はそうした実践から得られたノウハウを元に構成されており、発達障害支援とスーパービジョン・コンサルテーションを学ぶ上で、他に類のない研修となっています。

未だ新型コロナウイルス感染症収束の目途は立たない状況です。講義・演習共にオンラインで実施し、現場実習も可能な範囲で順次希望に応じて実施していく予定ですが、今後も感染状況や社会情勢による変更等を余儀なくされることがあり得るかと思えます。予めご了承ください。

【目的】

自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害児者への理解不足や間違った支援の結果、二次障害が生じることも少なくありません。その一因として、日本の福祉や教育の現場では適切なスーパービジョンが不足していることが挙げられています。本研修では、発達障害児・者への支援を行う発達障害者支援センター、自閉症関係施設職員及び発達障害児・者の医療、保健、福祉、教育、労働の各分野の実務に携り、一定程度の実務経験を有する方を対象に、第一人者による講義と全日本自閉症支援者協会加盟施設での実務研修、事例検討会、実践発表会等を通して、福祉施設はもとより関係機関・団体及び地域の核となるスーパーバイザーを養成します。

【主催】

一般社団法人 全日本自閉症支援者協会

【後援団体】

厚生労働省、文部科学省、日本自閉症協会、日本発達障害ネットワーク、日本自閉症スペクトラム学会、発達障害者支援センター全国連絡協議会、日本知的障害者福祉協会（依頼中）

【事務局】

発達障害支援スーパーバイザー養成研修特定事務局(社会福祉法人嬉泉内)

【研修概要】

発達障害支援スーパーバイザー養成研修は、3(ベーシック・アドバンス・マスター)コース、1認定審査で構成されています。

※ 2022年度は、ベーシックコース、アドバンスコースとも実施します。

※ マスターコース及び認定審査については、次年度以降構成や要件等を改訂する予定です。今年度受講・受審を予定されていた方は個別に対応させていただきます。お問い合わせください。

(1) ベーシックコース

対 象

○ 要件 (いずれか)

- ・知的・発達障害支援施設、学校・医療機関等での直接支援経験が3～5年程度の方
- ・発達障害児者の医療、保健、福祉、教育、労働の実務に携り、3年以上の実務経験を有する方

○ 受講動機の適性

- ・発達障害児者への支援をきちんと整理して学び、積み重ねるべき実践内容を明確にしたい方
- ・相談支援等の実務経験者で、発達障害児者に直接接する機会を求めている方
- ・所属施設等での人材育成や他機関との連携等において、発達障害児者への支援についてのアドバイスやスーパービジョン、コンサルテーション等に難しさを感じている方

形 式

座学+実務研修(全自者協加盟施設での実習) ※いずれもレポートあり

内 容

◇ 座学

自閉スペクトラム症を中心とした発達障害児者への支援の基本的な知識・理念・技術

※ インターネットオンラインでのeラーニング形式で実施します。

※ 受講レポートがあります。レポート提出をもって座学の修了となります。

座学(eラーニング)カリキュラム

	内 容	講 師	時間
A	『発達障害支援の基礎①』 ～医療とアセスメント～	日本自閉症協会 市川 宏伸	90分
	『発達障害支援の基礎②』 ～受容的交流～	全日本自閉症支援者協会 石井 啓	60分
	『発達障害支援の基礎③』 ～応用行動分析～	鳥取大学 井上 雅彦	90分
	『発達障害支援の基礎④』 ～TEACCH～	川崎医療福祉大学 諏訪 利明	90分
B	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義①』 当事者の立場から	NPO法人DDAC 広野 ゆい	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義②』 家族の立場から	日本自閉症協会 今井 忠	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義③』 施設支援の立場から	全日本自閉症支援者協会 松上 利男	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義④』 発達障害者支援センターの立場から	全日本自閉症支援者協会 五十嵐 猛	60分

受講期間

2022年8月1日(月)～8月31日(水) ※期間内であれば、何度でも繰り返し視聴可能です。

◇ 実務研修 (5日/1回以上複数回受講可)

臨床実習を主体としたカリキュラムの中で自閉スペクトラム症を中心とした発達障害児者の特性や支援の困難さ
接し方・関わり方の基本についての実践研修

※ 初回の実務研修の受講施設は、事務局で決めます。

※ 5日連続での終日受講となります。遠方の場合、宿泊が必要になりますので、ご自身で手配をお願いします。
(受入施設に宿泊可能な場合もあります。)

※ 実務研修は、新型コロナウイルス感染症の感染状況、宣言発出等の社会情勢により、延期等の変更が生
じる場合があります。

※ 新型コロナウイルスのワクチンについては、原則として接種済みであることが望まれます。

※ 実務研修受入施設毎に受入要件が定められる場合があります。(抗原検査の受検と結果報告等)

※ 受入施設の感染状況等により、急な予定変更を行う場合があります。

実施時期

※ 2022年9月以降実施予定

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況と受入施設の体制により実施時期を決定します。

※ 新型コロナウイルスの影響で、今年度内に実施できない場合もあり得ますので、予めご了承ください

※ 2020-2021年度に講義を受講された方は、別途実施します。

実務研修カリキュラム(例)

月曜日				13:00～ 受付	14:00～17:00	○オリエンテーション 施設概要説明・見学 実務研修説明 研修計画確認
火曜日	9:00～ ○オリエンテーション	9:30～ ○臨床実習 活動支援	12:00～ 食事支援	13:00 休憩	14:00～ ○臨床実習 作業支援	17:00～ 振り返り
水曜日	9:00～ ○オリエンテーション	9:30～ ○臨床実習 作業支援	12:00～ 食事支援	13:00 休憩	14:00～ ○アセスメント・支援計画策定研修 支援会議 模擬アセスメント・立案	17:00～ 振り返り
木曜日	7:00～ ○オリエンテーション ○臨床実習 生活支援	11:00～ 休憩	13:00～ ○臨床実習 余暇支援	15:00～ ○スーパービジョン研修 支援会議 事例検討	懇親会等	
金曜日	9:00～ ○オリエンテーション ○臨床実習 生活・活動支援	12:00～ 生活支援	13:30～15:00 まとめ 考課 終了			

会場

全自者協加盟施設

※ 受講者の在勤地の属するブロック(北海道・東北、関東、北信越、東海、近畿、中国・四国・九州)内の施設を事務局で指定させていただきます。(申込時にお問い合わせください)

(2) アドバンスコース

対象

○ 要件 : SV研修ベーシックコース修了

※ 2019年度以前のベーシックコース受講については、集合研修受講・レポート提出、実務研修1回を終えていれば修了と見なします。

※ 既にアドバンスコースを修了された方は、追加された新規講義等を無料で受講していただけます。

PCAGIPによる事例検討会にもご参加いただけます。(有料) お問い合わせください。

※ 2018年度にアドバンスコースを修了された方で、PCAGIPによる事例検討会に参加を希望される方は、PCAGIP事例検討会の進め方のデモンストレーション等、現行のアドバンスコースの講義を受講されることをお勧めします。

○ 受講動機の適性

- ・発達障害支援の実践経験はある程度積み重ね、より広く、より深く、より高く支援力を磨きたい方
- ・所属施設等での人材育成や他機関との連携等において難しさを感じ、発達障害児者への支援についてのアドバイスやスーパービジョン、コンサルテーション等の技能を学び、実践を重ね、後進の指導育成や地域での普及啓発、連携、指導育成に役立てたい方

研修形式

座学+演習 ※いずれもレポートあり

内容

◇ 座学

スーパービジョンやコンサルテーションを行う上での基礎的な知識や技能

※ 講義はオンラインオンデマンドのeラーニング形式で実施します。

※ 受講申し込み者以外の方、複数での視聴は厳禁でお願いします。

座学(eラーニング)カリキュラム

	研修内容	講師	時間
講義	『スーパービジョン・コンサルテーションの基礎』	社会福祉法人はるにれの里 加藤 潔	90分
	『スーパービジョン・コンサルテーションの基礎技術』 ～PCAGIPによる事例検討の進め方～	大正大学 玉井 邦夫	90分
	『支援者支援の重要性』(新規)	日本社会事業大学 藤岡 孝志	90分

※ 講師、講義内容が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

受講期間

2022年8月1日(月)～8月31日(水) ※期間内であれば、何度でも繰り返し視聴可能です。

会場

視聴環境を整えば、職場でも自宅でもどこでも構いません。

◇ 演習

PCAGIPによる事例検討の演習 (オンライン)

- ・スーパービジョンやコンサルテーションの基礎技能であるファシリテーション等の体験学習
- ・Zoomでのオンライン演習(ライブ)
- ・8名程度のグループで実施
- ・1セッション 90分程度

※ 各自検討したい事例の概要(悩み事、エコマップ)を別途事前に提出していただきます。

※ 全日本自閉症支援者協会関東ブロック研修会との共催で実施します。

※ 既にアドバンスコースを修了されている方も参加できます。(有料:2,000円)

実施日

2022年9月3日(土) 10:00～13:00

会場

Zoomが安定して受信できる視聴環境であれば、職場でも自宅でもどこでも構いません。

※ 相互にやり取りをしますので、周囲の音が入り込まないように配慮ください。

(3) マスターコース

対象

○ 要件

- ・SV研修アドバンスコース修了

※ 平成29(2018)年度SV研修資格認定コース受講者については、アドバンスコースの集合研修受講とレポート提出をもって修了と見なします。

※ マスターコースは、次年度以降構成や要件等を改訂する予定です。今年度受講を予定されていた方は個別に対応させていただきます。お問い合わせください。

○ 受講動機の適性

- ・積み重ねた発達障害支援の技能や知見を人材育成やマネジメント・コンサルテーションに活かしたい方
- ・地域における発達障害支援のリーダーとして貢献したい方

研修形式

- ・発達障害支援とスーパービジョン・コンサルテーションの実績を積む
- ・下記実践発表会で発表する(修了には1回以上の発表が必須となります)
- ・下記のような場や機会実践発表、研修講師受託など2つ以上の実績を積む

※ 「実績」について等、質問・相談は特定事務局で受け付けます。

※ 実績や実践力は数量では測りたいものですが、本来的には利用者やスーパーバイザーの好ましい変化(安定・成長・発達)をもたらせるか否かで測るべきものです。実質的には優れた実践家やスーパーバイザーの評価によるものと考えます。

※ マスターコースは講義や演習を受講して知識や技能を身につけるといよりも、重ねてきた支援とスーパービジョン・コンサルテーションの実践をまとめ、発表の場での他者からの客観的な意見や評価を真摯に受け止め、さらに研鑽する段階とお考え下さい。実践発表会もそうした目的でエントリーください。

※ 修了については、本協会理事が適否を考課します。

内 容 (例)

- ・依頼を受けて公的な立場でスーパービジョンやコンサルテーションを行った実績
- ・研究会や継続的な専門技能研修会等での実績
- ・国が主催する発達障害関連の研修(発達障害者地域支援推進事業における実地研修等)
- ・困難事例に対して先進的な取り組みを行っている医療・教育・労働等の機関での実地研修
- ・福祉・教育・医療等の専門機関で行われる発達障害支援に関する研修会等で講師を務める
- ・全日本自閉症支援者協会、日本自閉症スペクトラム学会、日本自閉症協会、発達障害者支援センター全国連絡協議会等の研究大会、発達障害関連の学会等で実践発表をする

◇ 実践発表会

日時：2023年1月28日(土) 10時～13時

形式：発表と講評 (発表45分 質疑・講評45分)

募集人数：若干名

発表内容：発達障害の支援対象者とスーパーバイザー、コンサルティに何らかの好ましい変化をもたらした実践の発表とします。発表内で好ましい変化について、内容や考えを明示していただきます。

エントリー費用：10,000円

※ 実施を含め、詳細は未定です。エントリーを希望される方はお問い合わせください。

※ 事前に発表内容の概略を示したレジュメ(別紙参照)を提出していただきます。要件を満たしていない場合、エントリーをお断りする場合があります。

※ 発表内容に関わる支援対象者、支援者等について個人が特定されない配慮を確実に行うと共に、事例提供の同意書を必ずご提出ください。書式は追って指定させていただきます。

(4) 認定審査 (実施を含め、詳細は未定です。)

対 象

- ・本研修マスターコース修了者

審査要件

- ・上記に示したマスターコースでの実績を満たしていること

審査形式

- ・認定審査委員会による書類審査(実績報告書) 口頭試問 等

認定形式

- ・全自者協スーパーバイザー養成研修運営委員会の承認を経て認定

※ 認定審査については、次年度以降構成や要件等を改訂する予定です。今年度、受審を予定されていた方は個別に対応させていただきます。お問い合わせください。

【受講資格】

- 発達障害者支援センター及び自閉症関係施設の職員で3年以上の実務経験を有する方
- 発達障害児・者の医療、保健、福祉、教育、労働の実務に携り、3年以上の実務経験を有する方
- ※ ベーシックコース受講申込時に、所属機関若しくは団体の推薦状をいただきます。
- ※ 3コース順次の受講を原則とします。

【募集人員・募集時期等】

<ベーシックコース>

定員：50名

募集期限：2022年7月25日(月) ※定員になり次第締め切ります。

※ 集合研修、実務研修とも、レポート課題があります。

<アドバンスコース>

定員：30名

募集期限：2022年7月25日(月) ※定員になり次第締め切ります。

※ ベーシックコース修了が必須です。

※ 2018年度までのベーシックコース受講に関しては、集合研修受講・レポート提出、実務研修1回を終えていれば修了と見なします。

講義レポート

<マスターコース>

定員：未定

募集期限：9月30日(金)

実践発表会・発表者募集期限：9月30日(金) ※レジュメもご提出ください。

※ アドバンスコース修了が必須です。

※ 平成29(2018)年度SV研修資格認定コース受講者については、アドバンスコースの集合研修受講とレポート提出をもって修了と見なします。

<認定審査>

定員：未定

【受講費用】

<ベーシックコース>

座学(eラーニング)：20,000円 実務研修：20,000円/回

※ 実務研修は実施環境が整い次第、受講手続きを開始し、受講料を徴収いたします。また、別途食費・宿泊代等の実費がかかりますので、予めご了承ください。

<アドバンスコース>

講義・演習：20,000円

<マスターコース>

無料

※ 実践発表会にはエントリー費用10,000円がかかります。

※ その他受講される研修等の費用は各自ご負担ください。

<認定審査> (未定)

審査料がかかります。(未定)

【申し込み方法】

各コースとも、添付の申込書に必要事項を記入し、メール添付にて事務局にご送付ください。(郵送、ファックスでも受付可能です。)申込書内容確認後、事務局よりご連絡します。

※ 連絡は、原則、メールでお願いします。

※ 受信アカウント作成の必要上、名前のフリガナは必ずローマ字表記でご記入ください。

※ ベーシックコース受講申込時に、所属機関若しくは団体の推薦状をいただきます。

※ 3コース順次の受講を原則とします。

※ ベーシックコース受講申込時に、所属機関若しくは団体の推薦状をいただきます。

【受講から修了までの流れ】

<ベーシックコース>

- ① 受講申込 (申込書の発送)
- ② 申込書の内容確認後、受講料の振込案内
- ③ 受講料振込確認で受付完了(通知)
- ④ 配信元 Lean on Me 社より、アクセスアカウント送付 視聴状態の確認
- ⑤ 配信・受講 (期間内であればどの講義も何度でも視聴できます)
- ⑥ 座学受講報告書を事務局に提出 座学修了(通知) 実務研修・演習の案内
- ⑦ 実務研修日程調整 ※実務研修は日程調整後、直接受け入れ施設と連絡を取って進めてもらいます。
- ⑧ 実務研修実施
- ⑨ 実務研修受講報告書を事務局に提出 コース受講修了(通知)

<アドバンスコース>

- ① 受講申込 (申込書の発送)
- ② 申込書の内容確認後、受講料の振込案内
- ③ 受講料振込確認で受付完了(通知)
- ④ 事務局よりYouTubeURL の配布
- ⑤ 配信・受講 (期間内であればどの講義も何度でも視聴できます)
- ⑥ 演習の案内 ZoomURL の配布
- ⑦ 演習実施
- ⑧ 研修報告書作成・提出
- ⑨ コース受講修了(通知)

<マスターコース>

- ・ 受講申し込み後、受講説明、相談を経て、各自研修や実践の取りまとめ、蓄積
- ・ 時期を選んで、実践発表会にエントリー
- ・ 申込書の内容確認後、エントリー費の振込案内
- ・ エントリー費振込確認でエントリー完了
- ・ 発表準備の確認とZoomURL配布

- ・ 実践発表会で発表 講評等を受け、さらに実践の蓄積、取りまとめ あるいは認定審査受審申し込み
- ・ 時期を選んで、再度、実践発表会にエントリー あるいは認定審査受審申し込み

【オンライン研修受講推奨環境】

○ パソコン(PC)

OS:Mac OS・Windows7, 8, 10 推奨ブラウザ:Google Chrome メモリ 2 GB 以上 (64bit OS)

解像度:1280 x 720 pixel 以上 インターネット接続:ブロードバンド接続を推奨

○ モバイル端末

端末:iPhone/iPad OS;iOS 12 以降 推奨ブラウザ;Google Chrome

Android OS;Android TM6 以降 推奨ブラウザ;Google Chrome

※ いずれのコースも音声付きです。学習するには イヤホンやスピーカーなどをご用意ください。

※ アドバンスコースの演習は、記録の仕方も学べますので、PC での受講をお勧めします。

※ なるべく明るいところで学習しましょう。

【その他】

平成30年度以前から発達障害支援スーパーバイザー養成研修を受講されている方も、問い合わせは以下でお受けします。

【問い合わせ・申し込み先】

一般社団法人全日本自閉症支援者協会

発達障害支援スーパーバイザー養成研修(全自者協・SV研修)

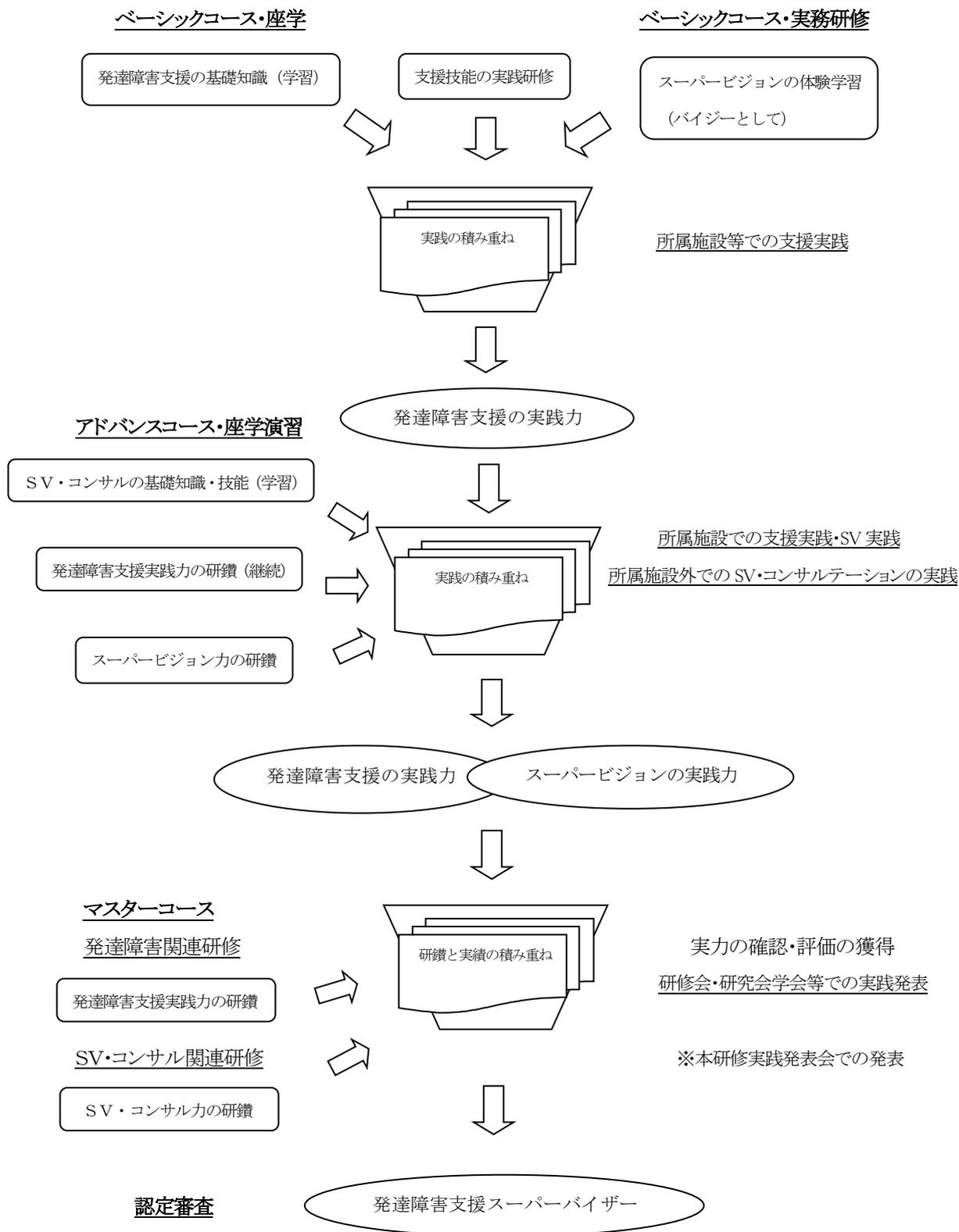
特定事務局 石井 啓 北川 裕(担当)

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-30-9 社会福祉法人嬉泉 子どもの生活研究所内

TEL:03-3426-2323 FAX:03-3706-7242

E-mail:sv-kensyuu@kisenfukushi.com

発達障害支援スーパーバイザー養成研修
研修の流れと自己研鑽の関係 (イメージ図)



※ 本研修は、受講者が講義や演習、実務研修で学んだことを、それぞれ所属している支援の現場等に持ち帰り、実践し、研鑽していくことを前提にしています。

受講申込書（ベーシックコース）

フリガナ(ローマ字) *1		Lean on Me・SL ログインID *2	
名前		男 女	年 月 日生 ()歳
所属	法人・団体等: 施設・学校等:		
職種	生活介護・就労支援・相談支援・教育・その他()		
資格			
連絡先 *3	<input type="checkbox"/> 職場	<input type="checkbox"/> 自宅	
	〒	〒	
	TEL:	TEL:	
	FAX: E-mail:	FAX: E-mail:	
職歴等			
受講理由 *4	<p>【発達障害支援の基礎知識の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援の技能の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【スーパービジョンの基礎知識の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【スーパービジョンの技能の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【その他】 具体的に:</p>		
備考	(受講番号:) *5		

*1:受信アカウント発行に必要です。必ず記入してください。

*2:(株) Lean on Me スペシャルラーニングの年契約をされている方は、必ずログインIDをご記入ください。

*3:主な連絡先を☑してください。連絡方法は原則できるだけメールでお願いします。

*4:受講理由は、できるだけ全ての項目についてお答えください。その上で主たるものを○で囲んでください。

*5:2019年度以前から受講を開始されている方は、備考欄に受講番号を記入してください。

受講申込書 (アドバンスコース)

フリガナ(ローマ字) *1		受講番号 (ベーシックコース時)	
名 前		男 ・ 女	年 月 日生 () 歳
所 属	法人・団体等: 施設・学校等:		
職 種	生活介護・就労支援・相談支援・教育・その他()		
資 格			
連 絡 先 *3	<input type="checkbox"/> 職 場	<input type="checkbox"/> 自 宅	
	〒	〒	
	TEL:	TEL:	
	FAX: E-mail:	FAX: E-mail:	
職歴等			
受講理由 *4	<p>【スーパービジョンの基礎知識の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【スーパービジョンの技能の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援の知識・技能の向上(スーパービジョンのために必要なもの等)】 具体的に:</p> <p>【その他】 具体的に:</p>		
備 考	(受講番号:) *5		

*1:受信アカウント発行に必要です。必ず記入してください。

*2:主な連絡先を☑してください。連絡方法は原則できるだけメールでお願いします。

*3:受講理由は、できるだけ全ての項目についてお答えください。その上で主たるものを○で囲んでください。

受講申込書 (マスターコース)

ふりがな		受講番号	男	生 年 月 日
名 前			・	年 月 日生 ()歳
所 属	法人・団体等: 施設・学校等: 部署・グループ等:			
職 種	生活支援・就労支援・相談支援・教育・その他()			
資 格				
連 絡 先 *1	<input type="checkbox"/> 職 場		<input type="checkbox"/> 自 宅	
	〒		〒	
	TEL: FAX: E-mail:		TEL: FAX: E-mail:	
職歴・資格取得等				
受講理由 *2	<p>【発達障害支援の知識・技能の向上】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援におけるスーパービジョンやコンサルテーションの実践力確認】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援あるいはスーパービジョン・コンサルテーションの実績評価】 具体的に:</p> <p>【その他】 具体的に:</p>			
備 考				

*1:主な連絡先を☑してください。連絡方法はできるだけメールでお願いします。

*2:受講理由は、できるだけ全ての項目についてお答えください。

実践発表会申込書 兼 発表レジュメ (マスターコース)

ふりがな		受講番号	所 属 (法人・団体等)
名 前			
職 種	生活支援・就労支援・相談支援・教育・その他()		
役職等			
発表レジュメ (参考書式)	支援対象者情報		
	診断名(発達障害の種別)、合併症等、支援区分、手帳等級、心理検査等結果、家族構成、支援歴、家族構成、現利用支援施設種別等、その他		
	支援機関・者情報		
	スーパービジョン・コンサルテーションの対象機関・者について		
	課題・目標・計画		
	<ul style="list-style-type: none"> ・支援対象者の状態・課題・目標・計画 ・支援機関・者の状態・課題・目標・計画 		
	スーパービジョン・コンサルテーションの実施内容		
	課題解決や目標達成のためにどのようなことをしたか		
	結果と考察 (好ましい変化の内容)		
	スーパービジョン・コンサルテーションの結果として <ul style="list-style-type: none"> ・支援機関・者にどのような変化があったか ・支援対象者にどのような変化があったか ・考察と今後の課題・目標 		

※ レジュメの書式は参考です。SV・コンサルの内容、過程が分かるようにお書きください。

※ 支援対象者の情報等は、必要と思う項目を選んで記入してください。

※ 簡潔に、A4で2枚以内に収めてください。

受講推薦状

年 月 日

一般社団法人 全日本自閉症支援者協会

機 関 名 _____

所 在 地 _____

電 話 番 号 _____

代 表 者 氏 名 _____ 印 _____

下記の者について、発達障害支援スーパーバイザー養成研修の受講を推薦します。

氏 名	(生年月日 年 月 日)
現 住 所	〒
所 属	
現所属での 主な経歴	
現在の主な 業務内容	
推 薦 理 由	